

腎臓を守って、 認知症を予防！

めざせ、 健康長寿！



令和2年1月29日(水) 13時15分から16時まで
(開場12時45分)

当日先着1,200人 申込不要 入場無料  手話通訳あり

1 13:30~14:00
『糖尿病性腎症と認知症』

東京都健康長寿医療センター
糖尿病・代謝・内分泌内科 専門部長

田村 嘉章

2 14:00~14:30
『微小血管と認知症』

東京都健康長寿医療センター
神経内科 専門部長

仙石 錬平

3 14:45~15:15
『心房細動と認知症』

東京都健康長寿医療センター
副院長

原田 和昌

質疑応答 15:30~16:00

司会 東京都健康長寿医療センター 腎臓内科 専門部長

板橋 美津世

会場 板橋区立文化会館 大ホール
東京都板橋区大山東町51-1

主催 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター

共催 板橋区

詳細はこちら



地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター

広報普及係

03-3964-1141 (内線1239)

ホームページ <https://www.tmg Hig.jp/>

定員に達した場合はご入場いただくことができませんので、ご了承ください。

第157回老年学・老年医学公開講座

腎臓を守って、認知症を予防！めざせ、健康長寿！

脳梗塞、認知症、フレイルがあると健康寿命が短くなります。認知症の予防には生活習慣病の予防が大切であることが知られています。しかし、良い生活をしてくださいと言われても、悪い生活習慣がなぜ認知症につながるかわからないと医者言うことを信じる気になれないと思います。慢性腎臓病（CKD）は高齢者に多いありふれた病気ですが、糖尿病や高血圧が原因になります。そして、慢性腎臓病があると心房細動や脳卒中が増えます。腎臓、心臓、脳はさまざまな形で関係しています。今回の講演では慢性腎臓病というキーワードから脳梗塞や認知症を防いで健康寿命を延ばすことを目指します。

東京都健康長寿医療センター 副院長 **原田 和昌**

概要

1 『糖尿病性腎症と認知症』

東京都健康長寿医療センター 糖尿病・代謝・内分泌内科 専門部長

田村 嘉章

腎症と認知症はいずれも糖尿病の合併症です。腎症は早期からチェックすることが重要です。腎症の進行予防のための注意点は、実は認知症の予防にもつながりますので実践しましょう。腎症におけるお薬の使い方の注意点についても説明します。



2 『微小血管と認知症』

東京都健康長寿医療センター 神経内科 専門部長

仙石 錬平

近年、慢性腎臓病（CKD）を有することで脳卒中発症リスクが増加することが指摘されています。脳と腎臓との共通点は何でしょう。両者ともに重要臓器であり速やかに血流を供給する必要があります。それを可能にしているのが両者の血管構築（血管口径の大きな血管から直接小さな口径の血管（微小血管）が分岐している）であり両者に共通しています。この微小血管は認知症発症にも関わっており、それぞれの関係をわかりやすく解説いたします。



3 『心房細動と認知症』

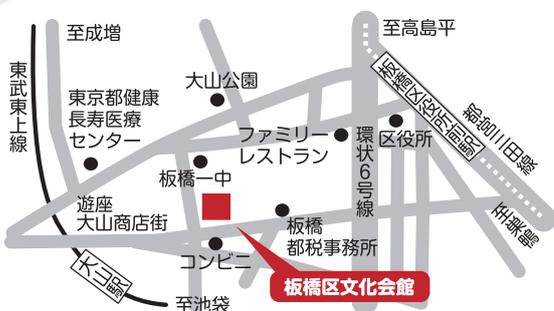
東京都健康長寿医療センター 副院長

原田 和昌

慢性腎臓病（CKD）も心房細動も高齢者に多い病気です。心房細動はいわゆる生活習慣病であり、CKDが原因のひとつです。また、心房細動は脳梗塞や認知症の原因になります。CKDから心房細動になり認知症が起こるといことが考えられます。したがって、CKDを予防し、心房細動になったなら抗血栓薬やアブレーション治療によって脳梗塞や認知症を予防することで、健康寿命を延ばすことができる可能性があります。



会場 板橋区立文化会館 大ホール



(所在地) 東京都板橋区大山東町51-1
(最寄駅) 東武東上線 大山駅
北口・南口徒歩3分
都営三田線
板橋区役所前駅
A3出口徒歩7分

地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター

広報普及係

03-3964-1141 (内線1239)

ホームページ <https://www.tmghig.jp/>
定員に達した場合はご入場いただくことができませんので、ご了承ください。